あいさつ１００％の推進　　平成１９年
学　校　だ　よ　り　　10月　NO.7
http://www.funakoshi-e.educity.hiroshima.jp/ 広島市立船越小学校　平田健三
コミュニケーション，かかわりあい　を大切に

１０月５日で 前期が終わります
９日から後期が始まります

前期が終わります。４日，５日は個人懇談会です。５日は前期の終業式でもあります。初めての２学期制ですから，どうもこれまでと勝手が違い，とまどうこともあります。学期の節目としてはやはり長期休業の前後がすっきりするように思います。

しかし，私たちが２学期制のねらいとしていた「しっかり子どもと向き合うこと」はかなり達成できました。夏休み前後の授業が従来に比べると充実できました。子どものそばにいてやれる時間も増えました。

また，夏休み中に子どもたちが教科の復習等に努力したことが前期の評価に反映できるよさもあります。

運動会を春に移したこともよかったと思っています。２学期制については教職員の思いだけでなく，児童，保護者の皆様の思いにもしっかり耳を傾けます。そして，子どもたちのよりよい成長に資する２学期制改善の方途を探ります。いずれ２学期制のアンケートをとりますのでご協力よろしくお願いします。

６年生修学旅行　１０月１１日（木）～１２日（金）

昨年度から５月に実施していた修学旅行を秋に変更しました。本年度は，運動会を春に開催したこともあり，修学旅行を秋にもってきたのはよかったと思っております。ともあれ，秋晴れのすてきな修学旅行になりますよう祈っております。（行き先は従来どおり　山口，北九州方面です。）

広島市児童陸上記録会　１０月２０日（土）ビッグアーチ

練習期間は短いですが，５，６年の代表選手全員が，すばらしい競技場でベストを尽くします。

今、子どもたちは・・・

（※ある人が書かれたものです。出典は不明で紹介できないのが残念です）

ある学校の校門での風景です。子どもが、親に電話をしています。

「お母さん、迎えにきて。」

５分後、１台の車がやってきました。その子はにこにこしながら元気に車に乗り込み、家に帰っていきました。

また、ある日、１時間目が終わろうとしています。忘れ物をしたのでしょうか、子どもの靴箱にそっと忘れ物を置いて帰る親の姿がありました。

実にほほえましく思えるこの光景です。子どものためを思う親心がみえてきます。

しかし、これが本当に子どものことを考えていることになるのでしょうか。

親にむかえに来てもらったこの子どもは、親がむかえに来ることは当たり前だと考えてしまうでしょう。また、忘れ物をしたら、親が届けてくれるのは当たり前だと思うでしょう。

元気であれば、「歩いて帰りなさい。」と言える親でありたいものです。子どもが頑張って家に着いたとき、「おかえりなさい。」と優しく迎えられる親でありたいのものです。忘れ物に気づいたら、子どもが家に帰ってから「今日は困ったでしょう。どうしたの？」と共に考えられる親でありたいものです。

今の子どもたちは、親から有り余るほどの愛情によって育てられています。あれがいるだろう、これがいるだろうと頼みもしない物まで買い揃え、休みの日には、海へ、山へ連れて行き、子どもは喜んだと親は満足しています。満足しているのは、むしろ親の方ではないでしょうか。子どもが親に望んでいるのは、もしかすると、別のことかもしれません。

育てるということ

子どもの人格を重んじるということは、子どもを育てることを意味します。「育てる」とはどういうことでしょう。それは、健全な心を育てることにあるのではないでしょうか。

物質的に恵まれている現代社会において、つい、子どもに対して、物で幸せを与えてしまっています。人の心は、決して物では満たされません。それでは、親としてどのように子どもを育てたらいいのでしょうか。

子どもは親の鏡と言われているとおり、親の姿がそのまま子どもに映っていきます。

親が考えるとおり子どもも考え、親が行動するとおり子どもも行動します。**つまり、子育てとは、親自身を育てることにあるようです。**あなたは、自分の何を育てますか。

心を育てましょう

どんなに世の中がかわろうとも、変わらぬ大切なものがあります。それは、人を思いやる心です。人に感謝する心です。ともに頑張ろうとする心です。物事を正しく見つめる心です。つまり、人権尊重の精神です。

（以下略します）